

令和 7 年度 第 4 回 定例会見

令和 8 年 1 月 28 日



■ 定例会見（令和8年1月28日）議事次第



登壇者

代表取締役社長 由木 文彦(ゆき ふみひこ)

管理事業本部長 田仲 博幸(たなか ひろゆき)

サービスエリア・新事業本部長 吉見 秀夫(よしみ ひでお)

会見内容

1. 営業概要（令和7年度第3四半期）
2. 1月21日以降の長期間にわたる寒波への対応状況
3. 令和7年交通事故発生状況
4. 佐野SA（上り線）リニューアル
5. 坂東PA（外回り）オープン
6. ドラぷらいノベーションラボ第V期採択案件決定



1. 営業概要

営業概要



(1) 営業の状況

① 通行台数・料金収入の状況

【通行台数】	台数(万台/日)	対前年度比
第3四半期計	308.9万台/日	100.3%
R7年度累計	309.6万台/日	100.9%
【料金収入】	収入(億円・税抜)	対前年度比
第3四半期計	2,172.3億円	102.2%
R7年度累計	6,585.0億円	101.8%

※参考値(速報)のため、料金収入の確定値とは一致しない可能性があります。

② 車種別の走行台キロ

※高速自動車国道のみ

【第3四半期計】	軽自動車等	普通車	中型車	大型車	特大車	合計
対前年度比	100.4%	100.0%	99.0%	100.9%	102.1%	100.1%
【R7年度累計】	軽自動車等	普通車	中型車	大型車	特大車	合計
対前年度比	102.2%	100.5%	99.8%	101.8%	103.2%	100.9%

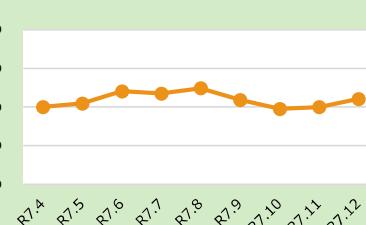
(2) ETCの利用率

ETC (12月)	ETC2.0 (11月)
94.6%	40.7%

【関東地区 主要料金所及び路線のETC利用率】

関越道：新座本線	97.1%	東関東道：習志野本線	97.3%
東北道：浦和本線	98.0%	東京湾アーバイン	98.9%
常磐道：三郷本線	97.7%	東京外環道	98.1%

通行台数(日平均) (R7年度・月別)



料金収入 (R7年度・月別)



(3) SA・PAの状況

※単位：百万円

第3四半期計	対前年度比	R7年度累計	対前年度比
飲食・物販	27,477	101.9%	86,483
GS	16,809	98.2%	50,200
合計	44,286	100.5%	136,683

【営業施設のあるSA・PA】 196カ所(SA:78、PA:118)

■ ポイント

- 令和7年度第3四半期の通行台数・料金収入は、前年度を上回った。
- 『飲食・物販部門』の売上高は、昨年に比べ連休が増えたことでお客様の外出機会が増加し、前年度を上回った。
- 『GS部門』の売上高は、単価は横ばいだが、ハイオク及びレギュラーの販売数量が減少したことで、前年度を下回った。

2. 1月21日以降の長期間にわたる 寒波への対応状況

降雪状況



■令和8年1月21日0時～1月25日18時降雪状況（NEXCO東日本調べ）

都道府県	道路名	観測地点	累計降雪量	時間最大降雪量
新潟県	北陸道	柏崎IC	97.3cm	6.6cm (21日22時)
新潟県	関越道	六日町IC	166.0cm	9.4cm (22日3時)
新潟県	関越道	越後川口IC	183.8cm	9.6cm (25日6時)
新潟県	上信越道	中郷IC	138.9cm	13.9cm (21日20時)
福島県	磐越道	西会津IC	80.6cm	7.2cm (24日2時)
北海道	道央道	札幌IC	94.7cm	6.1cm (25日15時)

(気象庁観測データ調べ)

長岡 111cm (積雪深) …平年の約2倍強 (1月24日)

札幌 54cm (24時間降雪量) …1月観測史上1位 (1月25日)

通行止め状況（1月28日11時現在）

道路名	区間	通行止め開始	～	通行止め解除	通行止め時間	延長(km)	備考
北陸自動車道	朝日IC～上越IC	1/21	20:00	～	1/22 6:00	10:00	73.6
	上越IC～三条燕IC	1/21	20:00	～	1/22 7:00	11:00	91.4
関越自動車道	六日町IC～長岡JCT	1/21	20:00	～	1/22 7:00	11:00	59.1
上信越自動車道	長野IC～上越JCT	1/21	20:00	～	1/22 6:00	10:00	79.9
磐越自動車道	会津若松IC～安田IC	1/24	5:00	～	1/24 13:00	8:00	71.4
北陸自動車道	朝日IC～三条燕IC	1/24 21:00 ～ 1/25 6:00				9:00	165.0
関越自動車道	六日町IC～長岡JCT						59.1
上信越自動車道	長野IC～上越JCT						79.9
道央自動車道	札幌JCT～札幌南IC(上)	1/25	3:35	～	1/27 8:00	52:25	7.9
札樽自動車道	銭函IC～札幌JCT(下)	1/25	3:35	～	1/27 14:00	58:25	23.6
	札幌JCT～銭函IC(上)	1/25	3:35	～	1/28 8:00	76:25	
道央自動車道	札幌南IC～札幌JCT(下)	1/25 3:35 ～ 繼続中				継続中	7.9
札樽自動車道	小樽IC～銭函IC						14.7
後志自動車道	余市IC～小樽JCT						23.4

- 予防的通行止めにより、**大規模な車両滞留は発生していません**
- **道央道・札樽道・後志道一部区間**は除排雪作業のため**通行止めを継続中**
- 予防的通行止め延長 375.4 km 集中除雪通行止め延長 373.6 km

※吹雪・事故等による通行止めは含まず

除雪作業状況



梯団除雪（関越道）



ロータリ除排雪（道央道 高架区間）



ロータリ除雪（関越道）



人力除雪状況（道央道 高架区間）

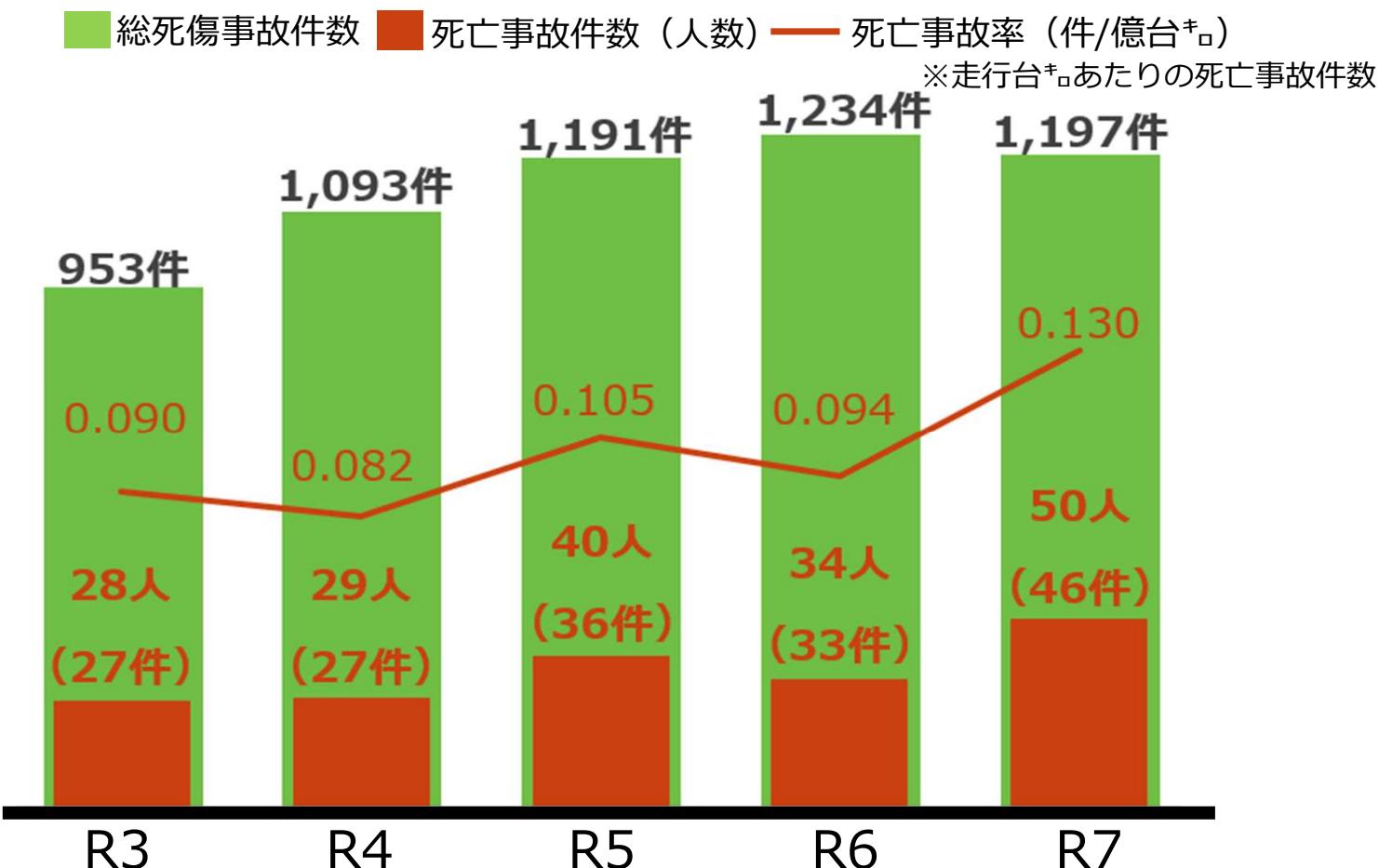
■ 予防的通行止めと冬道の安全運転

- 予防的通行止めは、降雪前に通行止めし、**集中的に除雪作業**を行うことで**早期の交通確保を行う**とともに、**大規模な車両滞留を防ぐ**ものです
- 予防的通行止め時には、**出控えや予定の変更**をお願いします
- 雪道をノーマルタイヤで走行されると、**大規模な車両滞留**につながり、人命に影響を及ぼす恐れがありますので、**ノーマルタイヤでの走行はおやめください**
- R8.1関東地方では、**約2割強**がノーマルタイヤ**早めの冬用タイヤ装着**をお願いします

3. 令和7年交通事故発生状況

R7 死亡事故件数・人数

- 交通量の回復具合に比べ、総死傷事故件数は減少するも、**死亡事故は増加**。
死亡事故率が上昇し、**1件の事故に対する危険度は増**している。



死亡者数
R6比
+16人
(+47%)

死亡事故件数
R6比
+13件
(+39%)

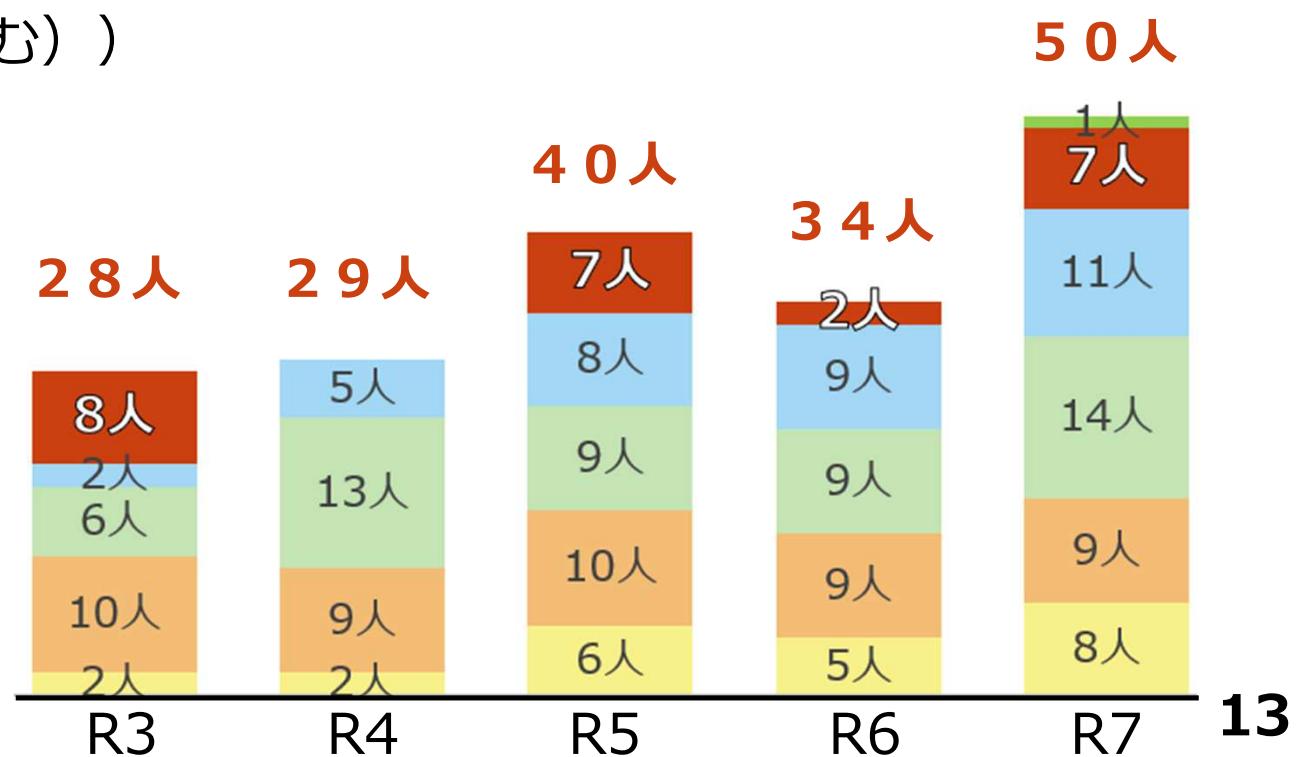
注) 資料中の値は全て当社調べ
12

死亡事故人数の内訳

- 車種別の死亡人数内訳では、故障や事故等により車外に出た人を後続の車両が轢いてしまい死亡事故に至る「車 対 人」の**対人死亡事故**が多くなっている。令和7年は7人死亡と令和6年より5人増加。

(車種別の死亡人数内訳（対人を含む）)

■ 軽自動車	■ 自動二輪	■ 普通車
■ 大型車	■ 人	■ 不明



時速100kmで走行中の車と人との接触事故のため、人命に直結する非常に危険で致命的な事故となる。

令和7年 対人死亡事故の想定要因



● 人側の想定要因

- 事故停車後、何らかの理由による本線の横断等。
- 故障による停車時など、一般道のように後続車が故障車や人を見つけて避けるという思い込みで、安易に路上で通報等してしまう可能性。
- 事故で気が動転し、慌てて車外へ飛び出る、路上を歩き回ってしまう可能性。

● 車両側の想定要因

- 高速道路なので、まさか人がいるとは思っていない可能性。
- 後続車の前方不注視・脇見によるものが3件、その他捜査中案件等4件。
- 夜間帯（19時～翌6時59分）が5件と、約7割を占めている。

■ 対人死亡事故を防ぐために

● 高速道路における緊急時の対処法

1. 路上に立たない、路上を歩き回らない

事故を起こしても冷静に。

特に車外への避難時は周囲に注意し、路上にとどまらない。



2. 後続車に「合図」

後続車の運転手が気付いているとは限らない。

- 1 ハザードランプ点灯
- 2 発炎筒を着火
- 3 停止表示器材設置

3. 安全な場所へ「避難」

車内は安全ではないため、ガードレール外側等の安全な場所へ避難。

後続車に追突され、命を落とした事故もある。



4. 避難してから「通報」

110番・119番、非常電話、道路緊急ダイヤル（#9910）
で通報。



■ 対人死亡事故を防ぐために

● 故障や事故を見聞きした時の対処法

1. 情報板を確認

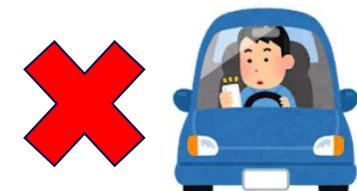
情報板に表示される、前方で発生した事故や故障車の情報を確認。



2. 脇見運転せず、前を向いて運転

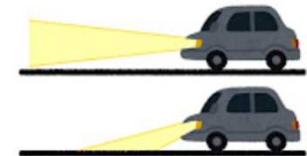
時速100kmの高速道路では、車は1秒間に約28m進む。

特に運転中のスマホ操作は大変危険で、道路交通法上も禁止行為。



3. 夜間はハイビーム、ロービームを切り替え

ハイビームの積極活用で、早めに異常を察知。



4. 停止車両を見かけたら、減速し注意して走行

急な飛び出しや予期せぬ事態にも対応できる運転を心がける。

交通安全啓発等の取り組み

- 様々なツールの活用や関係機関と連携し啓発活動を実施

1. 交通安全キャンペーンでの呼びかけ

警察や運輸局等と連携したキャンペーンを実施。



2. SNS・動画での啓発

スマホ操作の禁止、冬季の地吹雪の注意喚起、二輪すり抜け危険等、事故発生状況を踏まえて啓発。
TikToker（だつりん先生）タイアップの情報発信も。



スマホ操作禁止啓発



だつりん先生タイアップ
(故障時の対応)

3. HPでの取り組み紹介

社会的影響の大きい逆走事故に対して、重点対策の実施状況や逆走発生時の対策訓練の様子を紹介。



4. 佐野SA（上り線）リニューアル

■ ドラマチックエリア佐野SA（上り線）オープン



今春、『佐野の大地』に新しい風が流れる！

ドラマチックエリア 佐野SA（上り線）
3月17日（火）リニューアルオープン！

上下線を徒歩で行き来できる『佐野パークSA』完成！

ドラマチックエリア佐野SA（上り線）オープン



特徴①：“食”で地域を感じる「旅のドラマ」【地域性】



地域の食 × 市内の人気ラーメン店&一流シェフ × 佐野SA

有名ホテル出身シェフが栃木の食を監修！

<レストラン>

SANO SKY DINER



- ・“光の道”をイメージした照明、くつろぎの空間
- ・ウェイティングシステムや自動配膳ロボットの導入により利便性を向上

<フードコート>

市内の有名店が高速道路に登場！

麺屋 ようすけ plus (佐野らーめん)



ほかにも地域のメニューを多数ご提供！

みかも庵



大根そば&ニラそば 合盛り

くろはかま亭



ようすけ餃子定食（佐野餃子）



かぬまシウマイ定食

特徴①：“食”で地域を感じる「旅のドラマ」【地域性】



地域の食 × 地域の生産者&一流ホテル × 佐野SA

～地域の生産者と加工品を共同開発～



地元産いちご・トマトを使用したチョコスイーツ

～地元のスイーツや鬼怒川金谷ホテル直営の
焼き菓子が高速道路初登場～



～お気に入りの一杯・佐野らーめん勢揃い～



Bistro Port&Terre
(佐野市内テイクアウト専門店)



さのまる焼



佐野らーめん風コロッケ

テイクアウトコーナー「旅のイロドリカフェ」
～佐野の魅力をお手軽に～

■特徴②：隈研吾氏監修の内外装デザイン【ドラマ性】



隈研吾建築都市設計事務所 × 内外装デザイン × 佐野SA



©隈研吾建築都市設計事務所



©ノムラアーキス・乃村工藝社（隈研吾建築都市設計事務所監修）

<デザインのポイント>

外に向かって大きく開いた軒がお客様をお迎えし、外壁に当たる光とともに
内外装一体のデザインで、明るく開放的な雰囲気を演出

■特徴③：佐野市との連携・協働／地域を感じる体験【地域性】



さのまる × 高校生プロジェクト × 佐野SA

「さのまる」ラッピング自販機をデザイン



(上り線)



(下り線)

ハイウェイスタンプのコラボ

ほかにも・・・

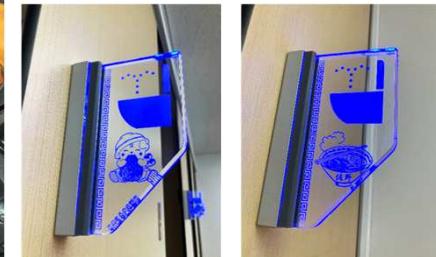
地域を感じる体験を演出



©ノムラアーツ・乃村工藝社（隈研吾建築都市設計事務所監修）



天明鋳物の専用焼き型で
焼くさのまる焼き



女子トイレ内の表示

■ ドラマチックエリア佐野SA（上り線）オープン



令和8年3月17日（火）午前10時オープン！

※3月13日（金）内覧会

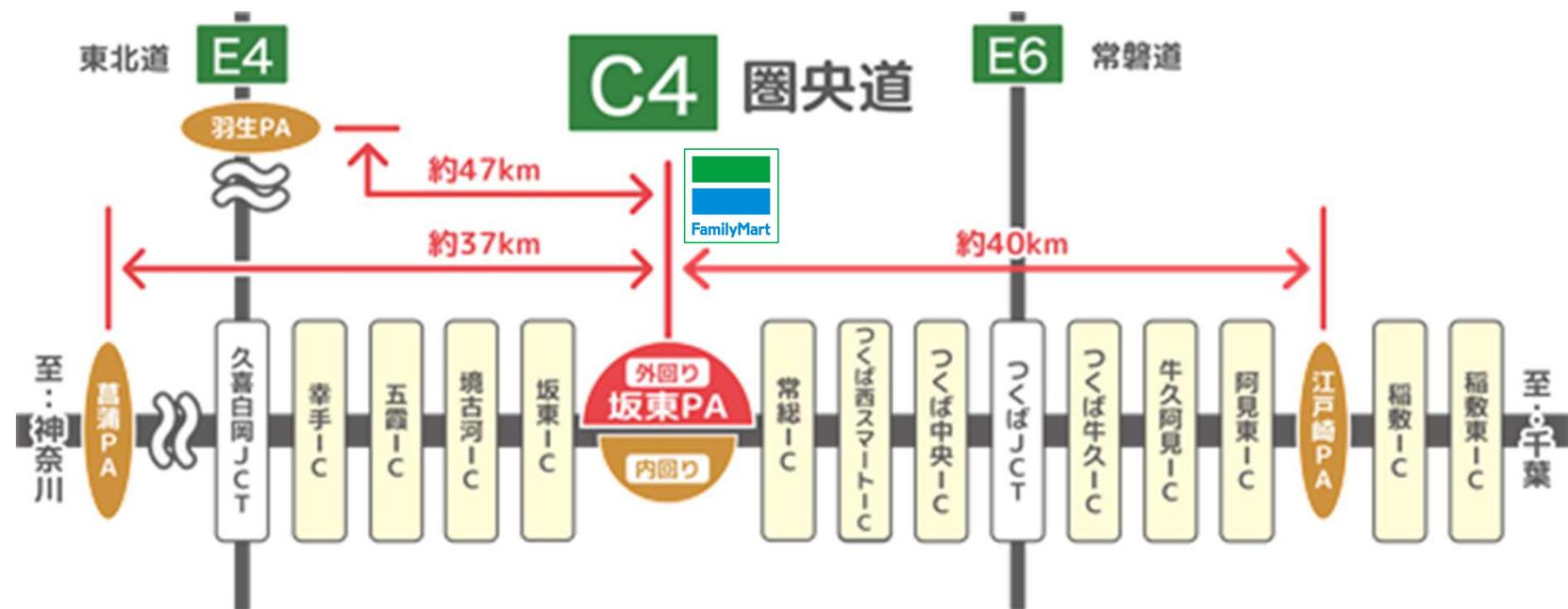


5. 坂東 P A (外回り) オープン

令和8年1月31日（土）15時 新規オープン



施設間距離の大幅短縮による お客様の安全性・利便性の向上へ



坂東PA（外回り）供用開始



坂東PA（外回り）供用開始



商業施設を通じた地域（坂東市）との連携・協働の取組み

ハイウェイスタンプのコラボ



(外回り)



(内回り)
※設置済

「将門くん」「ねぎ爺」ラッピング自販機





6. ドラぷらいノベーションラボ 第V期採択案件決定

NEXCO東日本

- ・地域との繋がり
- ・地域社会、経済への貢献
- ・インフラを支える技術力・アセット

ドラぷら
INNOVATION LAB

共創(検証・実装)

出資

スタートアップ企業等

- ・新たな技術・サービス
- ・革新的なアイデア

等

NEXCO東日本×スタートアップ=イノベーションの実現
多様化する社会課題を解決するソリューションの社会実装

2030年の社会を見据え高速道路から新たな価値を創造

共創事例①：NEXCO東日本 

× 株式会社エアロジーラボ 

道路管理の課題：

災害時における高速道路上の速やかな状況把握

高速道路本線上を想定したドローン長時間飛行の検証を実施

【NEXCO東日本】



災害時の状況把握



【エアロジーラボ】



長時間・長距離飛行が可能な
国産のハイブリッドドローン

検証結果

令和7年9月の検証にて、
目標であった飛行時間3時間を達成

※連続飛行時間：3時間9分43秒
飛行距離：合計106.3km



- 連続3時間飛行により、災害時に複数IC間を1機体で巡回することが可能となり、初動対応や状況把握の迅速化へ寄与すると確認できた。
- 今後、現場運用を見据えた運用方法・体制の検証を実施する予定。

共創事例②：NEXCO東日本  × ジオフラ株式会社 

地域の課題： 観光客の回遊行動を増加させたい

デジタルとリアル、エンタメと高速道路を融合した地域周遊の促進

「NEXCO東日本 × 弱虫ペダル 千葉ドライブスタンプラリー」

期間：令和7年10月9日（木）～10月31日（金）

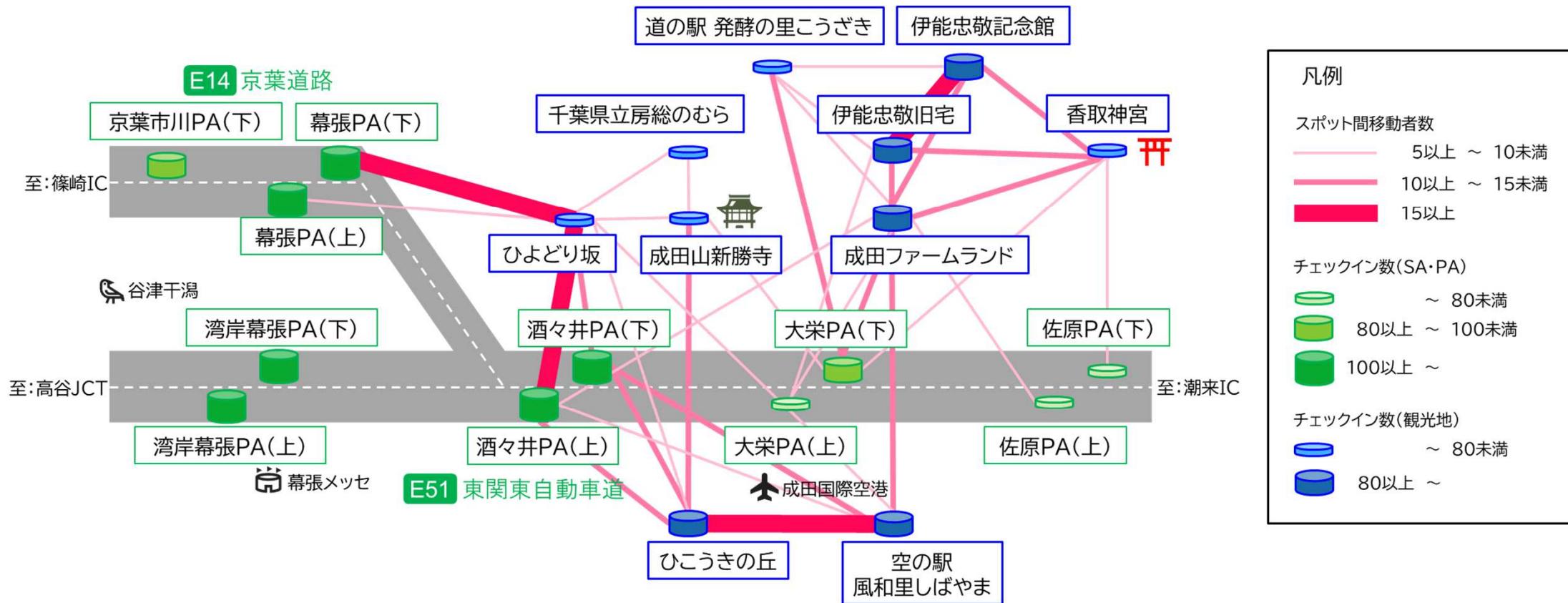
概要：スマートフォン向けアプリ「プラリー」を用いたデジタルスタンプラリーを実施。

千葉県内の観光地等50か所にスタンプスポットを設置し、スタンプを獲得すると、SA・PAでカプセルトイ（プラポン）を回してオリジナルグッズ入手できる。



ドラぷらイノベーションラボを起点とする価値の創造（5 / 6）

データ例：スポット間の移動者数（東関東道エリアの場合）



- 観光地の訪問とSA・PAの利用、双方にインセンティブを付与し、地域周遊と高速道路利用を共に促進するイベント設計。
- 特定のタイミングまたは地点における交通量や人流だけでなく、イベント参加者が高速道路から地域へ回遊する行動データを取得。



高速道路の利用促進や地域連携施策の効果的な実施

ドラぷらイノベーションラボ第V期：採択企業（1/2）



ドラぷらいノベーションラボ第V期：採択企業（2/2）

第V期共創パートナー4社を決定。

会社名 ※五十音順	株式会社RCI エージェンシー	SUSHI TOP MARKETING 株式会社	株式会社 スポットライト	株式会社ミチ
				
共創イメージ	設計図面の言語化・構造データ化による業務の高度化	NFTを活用したユーザー体験を提供し、お客様の観光情報収集に活用いただくコンテンツを実施	お客様の「笑顔」を生み出す、ドライブやお出かけをトータルサポートするアプリの構築	犬と人が一緒に楽しめる新たな旅行スタイルのご提案

※共創イメージについては今後変更可能性あり